

これからどうなる・どうする

新型コロナウイルス

～ PART II ～

みんなで守ろう!
みんなのいのち!



PJ担当 嶋田芳樹

先般配布しました「これからどうなる・どうする新型コロナウイルス」について、その後の新しい情報をPART IIとして取りまとめてみました。

新型コロナウイルス終息の見通しは？

新型コロナウイルスの世界的感染拡大を受けて、WHO（世界保健機構）も3月11日に「パンデミック」という認識を示しました。

この世界的大流行がいつごろ終息するのかについては、いろいろな意見があるようですが、それは国情などによっても違いがあるのではないかと考えられます。それを前提として、現在の代表的な意見を2つご紹介します。

(1) ハーバード大学研究班の意見

アメリカ・ハーバード大学の研究班が5月5日に発表した論文によりますと、特効薬やワクチンが完成されていなくて、さらに救急医療体制が今のままだと、**コロナウイルス流行の終息は、2022年までかかる**と推定しています。

もし完全に終息したとしても、2年後の2024年には第2回目の流行が発生するとも予測しています。

(2) 日本の場合はどうか

- ① 医療ガバナンス研究所(東京)の上 昌広理事長は、次のように指摘している。
「国内では感染の有無を判定するPCR検査が十分になされていないため、
そもそも感染状況を把握できるはずがない」

(注) 厚生労働省と総務省の公表データによると、人口100万人あたりのPCR検査数(3月2日現在)は、韓国の約2千人に対し、日本は200人超にとどまっている。イタリアでも約400人と、日本の倍近くある。

- ② インフルエンザ対策の権威で、けいゆう病院(横浜市)の菅谷憲夫医師は、次のように指摘している。

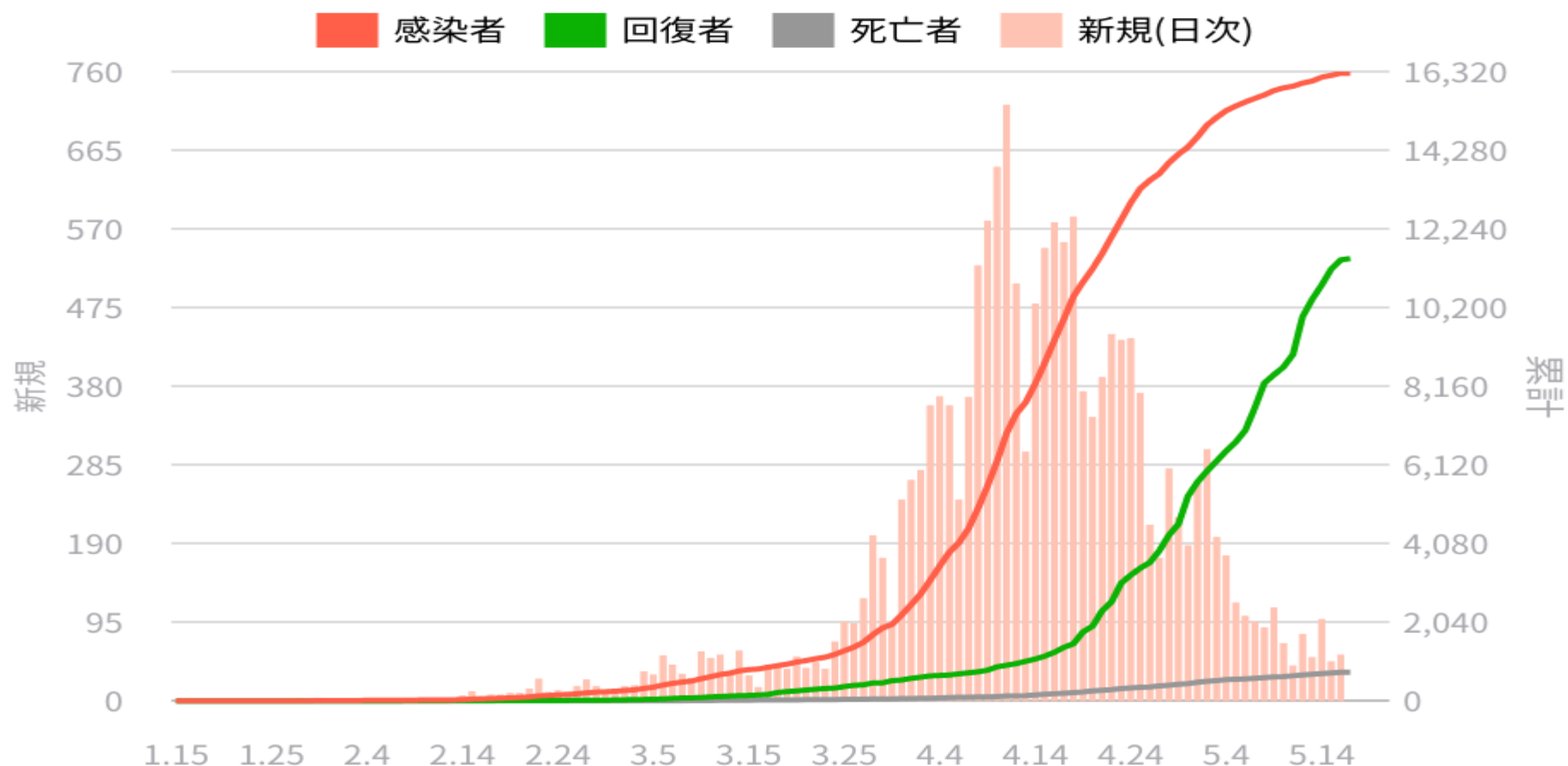
「夏場になって日本など北半球で一旦終息しても、冬季に突入する南半球で感染拡大の危険性がある。**世界のインフルエンザ研究者は、おおむね終息の見通しを、『第2波以降』とみている**」

(注) 『第2波』とは、シーズンをまたいだ次の冬、つまり今年の11月以降ということです。

上記のような意見からしますと、一旦終息したように思えても、次の第2波終息後でないと、完全に収まったとは言えないようです。

したがって、私たちは引き続き感染予防に努める必要があると考えます。

【参考】 日本における感染者数等の推移



【参考】

新型コロナウイルスの寿命はどのぐらいか

米国立アレルギー感染症研究所の研究者らが、3月17日米医学雑誌「ニューイングランド・ジャーナル・オブ・メディシン」で、新型コロナウイルスが感染力を保ち続ける「寿命」は、次のとおりであると報告しました。

新型コロナウイルスの生存期間

SARS-CoV-2(新型コロナウイルスの正式名称)の環境中の生存期間を調べた

空気中*

3時間



銅の表面

4時間



ボール紙の表面

24時間



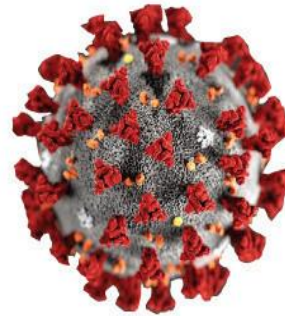
プラスチックの表面

2~3日間



ステンレスの表面

2~3日間



また、季節性のインフルエンザの場合と同様に「新型コロナウイルスも気温が高まる夏が近づけば流行が収まっていくのではないか」という見解がありました。

しかし、カナダ・トロント大学の研究チームは、「**新型コロナウイルスの流行と、緯度・気温の間に関連性は存在しない**」という研究結果を報告しています。

新型コロナウイルスの治療薬とワクチンは どうなっているのか？

これについては私たちが最も気になるところです。そこで現状がどうなっているのか、以下ご紹介したいと思います。

(1) 治療薬について

厚生労働省は、一部の医療機関で3つの薬の使用・研究を開始したことを明らかにしました。これら3つの薬の当初の目的・効果について、見てみましょう。

また、武田薬品工業は、既存の薬の応用ではなく、新しい治療薬の開発を開始し、最速9ヵ月後の市場投入を目指すと発表しました。

薬品名	この薬品の当初の目的	効 果
アビガン	抗インフルエンザ薬	ウイルスを増殖させる酵素を阻害する。
カレトラ	エイズ治療薬	ウイルスの増殖を抑える。
レムデシベル	エボラ出血熱の治療薬	ウイルスの抑制効果がある。

(注) この3つのほかに、喘息吸入用のステロイド薬「シクレソニド」も有効ではないかと言われています。

(2) ワクチンについて

今日の新聞報道によりますと、新型コロナウイルスの感染を予防するワクチンの開発は、世界中で活発に進められていて、WHOの公表によると、118の計画が進行中ということです。いくつかの開発例の概要を挙げますと次のとおりです。

種 類	開 発 元	開 発 段 階
R N A ワ ク チ ン	米国立アレルギー感染症研究所	臨床試験
D N A ワ ク チ ン	米イノビオ	臨床試験
不 活 性 化 ワ ク チ ン	中国シノファーム	臨床試験
ウ イ ル ス ベ ク タ ー	英オックスフォード大学	臨床試験
R N A ワ ク チ ン	独ビオンテック・米ファイザー	臨床試験
D N A ワ ク チ ン	大阪大学とアンジェス	7月臨床試験の予定
組 み 換 え た ん ぱ く 質 ワ ク チ ン	国立感染症研究所と塩野義製薬	年内に臨床試験の予定

新型コロナウイルスと妊娠・子供の関係は？

新型コロナウイルスに感染した場合、妊娠あるいは子供はどうなるのかという点については、次のようなことが言われています。

(1) 男性が感染すると不妊症になるのか？

2月中旬に「男性が新型コロナウイルスに感染すると不妊になる」というニュースが流れたそうです。この発端は、タイの医療系サイトが2月16日に配信したもので、中国人のワン・ジャンチン医師が率いる南京医科大学をはじめとする研究チームの最新研究で、「**コロナウイルスによって、男性患者は不妊症にになる可能性がある**」ということだそうです。

これについて日本の専門家の意見は、「今後長期的に調査・研究をしなければエビデンス(医学的根拠)にはなりえないので、**今の段階ではそれほど気に留める必要はないでしょう**」ということです。

(2) 出産を控えている妊婦さんが感染したらどうなるのか？

症例も少ない状態ですが、これまでの結果をまとめますと次のようになります。

- ① 出産した赤ちゃんへの感染はなく、胎内感染は否定的。
- ② 胎児奇形の報告はない。
- ③ 妊婦の肺炎重症例なし。
- ④ 流産や早産の可能性も高くなってはいない。

(3) 子供が感染したらどうなるのか？

こちらも現段階でのものなので確証ということではないが、次のことは子供が感染した場合の回復転帰のデータになります。

- ① 34人の子供が感染。
- ② 14人は男、20人は女。
- ③ 基礎疾患は一人もいなく平均年齢は8歳。
- ④ 危篤や重症にまで至った子供はいない。
- ⑤ 34人全員回復し退院。

はびこるデマやフェイクニュースに 騙されない・広めない

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、インターネット上で「デマ・フェイクニュース」がはびこっていきまして、インフォメーション(情報)とエピソード(感染症の急拡大)を合わせた造語「**インフォデミック**」が問題になっています。

例えば、「生理食塩水・酒・紅茶・緑茶・ニンニク・唐辛子・アロマが感染予防に効果がある」とか「茨城県で感染者が出ていないのは、納豆をたくさん食べているからだ」といった、医学的根拠がないデマ・フェイクニュースです。

このような現象は日本だけでなく、いわば全世界的な問題で、アメリカでは不確かな情報を信じて、自己判断で薬を服用した男性が死亡する、といった事故まで発生しています。

私たちは以下のようなことを参考に、『**デマやフェイクニュースに騙されない・広めないようにしたい**』と考えます。

(1) デマ・フェイクニュースに騙されないためには
以下のことを徹底することが大切とされています。

- ① 公的機関による一次情報かどうか確かめる。
- ② 新型コロナウイルス関連の情報で言えば、次のようなウェブサイトで正確な情報を入手する。
 - * 厚生労働省「新型コロナウイルスに関するQ&A」
 - * 首相官邸「新型コロナウイルス感染症に備えて～一人ひとりができる対策を知っておこう」
- ③ 有名人の投稿であっても、信頼している親友からのツイートであっても、絶対に鵜呑みにしない。そして、国や公的機関などのウェブサイトを確認する。

(注) これに関連して、次のお二人の著書・発言に嘘があると批判されているようです。

 - ・ 医療ジャーナリスト(自称)伊藤隼也氏の著書「新型コロナウイルスの本当の話」
 - ・ 池上 彰氏のテレビ番組

(2) デマ・フェイクニュースを広めないためには

- ① SNSで「誰かに教えたい！」と心動かされる情報であっても、まずは一呼吸おいて、「これは本当に信用してよい情報なのか」と疑いの目を向ける。
- ② 繰り返しになりますが、「公的機関による一次情報かどうか確かめる」「確実に『正しい』と裏が取れた情報」しか広めない。

(注) 自らデマ・フェイクニュースを投稿するのはもちろんですが、第三者が投稿したデマ・フェイクニュースを広めることも、「投稿に賛同する表現行為」とみなされた判例もあります。訴えられてから「自分も騙された被害者だ」「良かれと思って拡散した、悪意はなかった」と弁解しても、後の祭りですので、くれぐれも注意が必要です。



感染した人の年代別死亡数・重症数

これまでも新型コロナウイルスに感染した場合、高齢者の死亡や重症化ということが言われてきました。先日それに関するデータを見つけたので、ご紹介しますと次の図のとおりです。

(注) 出典は厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の国内発生動向」(令和2年5月7日18時時点、非公表・調査中を除く)です。

この図からは、次のようなことが言えます。

- ① 60代以降死亡数・重症数ともに急激に増加し、80代以上の場合は、死亡数が極めて多くなる。
他方、20代以下の若年層の場合は、ほとんど死亡数がなく重症数もゼロである。
- ② これを死亡率で見てもみますと、60代以降の合計では93.5%、**80代以上だけを見ると57%(半数以上が死亡する)**という非常に高い率になっています。

したがって、高齢者特に80代以上の方は、新型コロナウイルスに感染しないよう、十分注意する必要があります。

